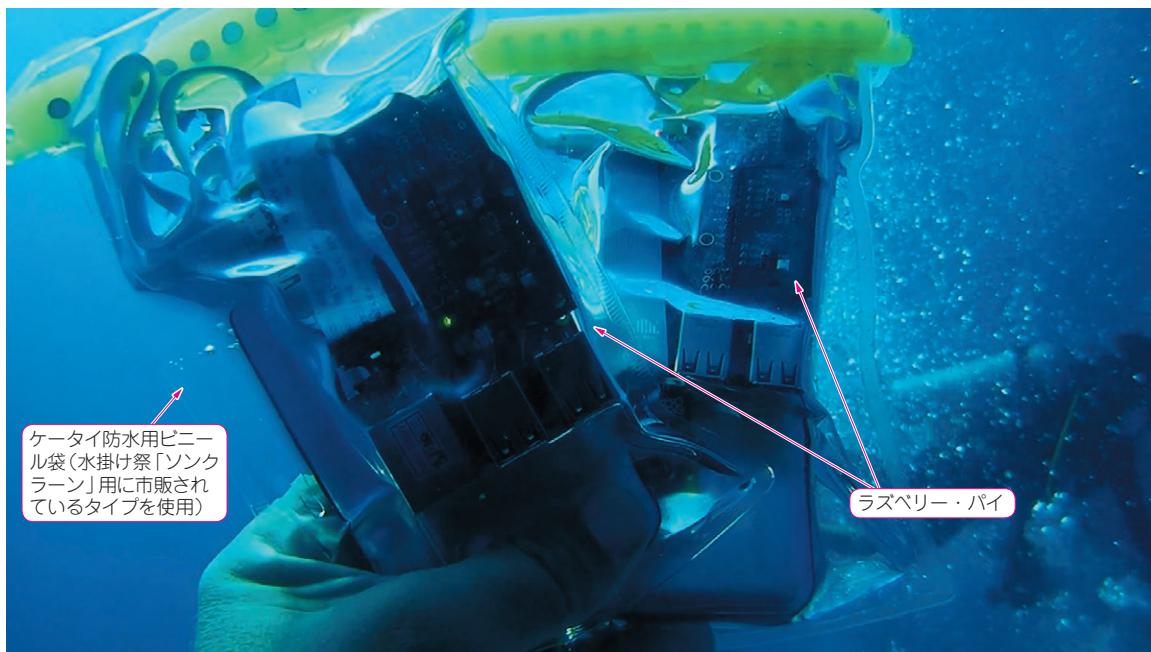


水中30mで動かす

Chayanin Youngyai, 星野 拓郎, 井倉 将実



ケータイ防水用ビニール袋(水掛け祭「ソクラン」用に市販されているタイプを使用)

ラズベリー・パイ

写真1 ラズベリー・パイを持って海(ピピ島沖)に潜り動作や無線通信が行えるかを調べた

タイで楽しめるレジャーの1つに、スキューバ・ダイビングがあります。タイにはプーケット、サムイ、ピピ、シミラン諸島、パタヤ沖など、多くのダイビング・スポットがあります。最近ではタイ人の間でも、少し高級なレジャーとして認知されてきました。

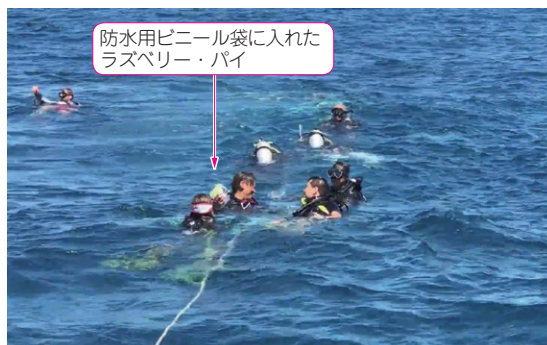
タイのダイビングでは、バラクーダやウツボなどの珍しい魚や、タコ/コブシメなどの軟体動物のペア、またウミガメは比較的によく見かけます。場所によっては体長8m強のジンベイザメやマンタ(オニイトマキエイ)に出会えることも「まれに」あります。

ダイビングは通常2名以上でペアを組んで潜水し、楽しめます。しかし、珍しい水中の景色に見入ってしまう、楽しさのあまりにペアの人と離れたり、位置を見失ったりしてしまうことで海難事故につながる危険性もあります。実体験からも、水中でペアが一定以上離れた場合には振動などでダイバーに知らせる装置を作ってみたいと思っています。

その第一歩として、コンピュータ・ボードを水深数

10mの海の中で動かすにはどうしたらよいか、ラズベリー・パイ(Raspberry Pi)を使って試してみました(写真1)。

ダイビング・スポットが多いピピ島沖で、水深30m強までの中で実験を行いました(写真2)。



防水用ビニール袋に入れたラズベリー・パイ

写真2 ピピ島沖でラズベリー・パイを手に潜る